

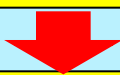
箱わな・囲いわなでの捕獲の基本的な手順

1. 場所を決める

まず、候補地を選ぶのに、事前に何度かパトロールし、出没状況を確認する。
候補地の足跡や糞、獣道の状況からわなの設置を決める。

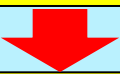
【設置にあたっての7つのポイント】

- ①山に近い場所
- ②獣が安心してよく出てくる場所
- ③獣が安心して餌を食べる場所
- ④平坦な場所
- ⑤管理・持ち運びしやすい場所
- ⑥土地所有者の理解が得られている場所
- ⑦人の出入りが少ない場所



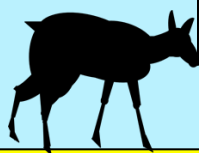
2. 事前の餌付け

- ①わなを仕掛ける前に、まず餌をまいて食べるかどうか確認。
- ②周辺の草刈り等を行い、わなを設置しやすく、餌も食べやすいようにする。
- ③餌の減り具合や足跡、糞などの痕跡を確認して、誘引状態を確認する。
- ④餌づけをしばらく続けると警戒心も弱まる(待ち続けると行動が変わる。)

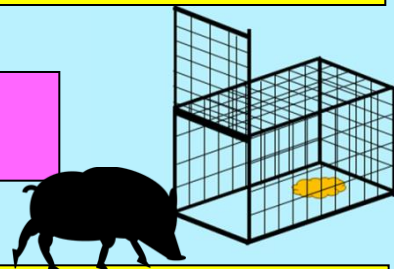


3. 箱わな・囲いわなの設置

捕獲時と同じ環境にするためトリガーなどは仕掛けておく。ただし、ゲートは落ちないようにストッパーをかけ、固定しておく。



捕獲の成功の鍵は餌付け！



4. 餌付けを続け警戒心を解く

- ・獣道から檻の周辺に近づけるよう餌をまき誘引する。檻周辺まで来ると、徐々に檻の中へと餌付けしていく。
- ・餌づけできたら、檻の外側に、エサを置かない。
- ・檻の一番奥で餌を警戒なくエサを食べるまでしっかり餌づけする。
(毎日完食するようになれば餌付け完了)
- ・毎日欠かさず、1日に食べる分だけ餌をやる。
- ・餌をまいても食べない場合は、古くなった餌を取り除き、新しい餌にする。

<餌を食べない場合の原因>

- ①他においしい餌がある。
- ②わなへの警戒が強い。
- ③季節によって餌付けしにくい場合がある。(兵庫県におけるドロップネットでのシカの捕獲状況は4~8月は少ない)

<餌を食べない場合の対策>

- ①餌の種類を替える
- ②他の餌となる農作物等の管理を徹底する
- ③設置場所を変える
- ④無理せず休む など





5. 捕獲する

- ・餌は外からとられない程度、なるべく奥の方に入れておく。
- ・檻を仕掛け、扉がうまく落ちるか確認しておく。



6. 捕獲後

- ・再度、檻の外出入口に餌を置き、入りそうかチェック
- ・食べられていたら捕獲継続。
- ・来てなければ、警戒心がなくなるまで餌付け。
- ・餌付けを続けても食べない場合は、檻を少し移動させるのがよい。

被害対策を行い捕獲することが大切！

- ①餌が少なくなり檻の餌に誘引できる。
- ②防護柵周辺での捕獲効果は高い。

注意事項

- ①過剰にエサをやらない。
(腐敗や悪臭などの問題)
- ②捕獲した獲物は放置しない。
(捕獲効率の低下と事故の心配)
- ③わなのメンテナンスは頻繁におこなう。
- ④餌付けた獲物は確実にとる。
- ⑤仕掛けのセットは最短にする。
(長期間の捕獲待機状態は危険)

餌について

- ①周辺の農産物や植生によって、動物の嗜好が変わる。
- ②米ぬかやイノシシ・シカの誘引力も強く、入手しやすい。
- ③家畜用の濃厚飼料や粗飼料は、費用はかかるが入手は楽で、時期によっては有効的。濃厚飼料は、イノシシ・シかに、粗飼料はシカの餌づけに使用。
- ③入手しやすさと嗜好性を考慮するとイノシシには米ぬか、シカにはハイキューブ(乾燥牧草)(三重県のマニュアルでは、ハイキューブに細かく砕いた鉱塩を混ぜると効果が長持ちする)



050F 10/04/2015 00:23:56

奈良県南部農林振興事務所 農業普及課
五條市西吉野町湯塩 1 3 4 5

TEL : 0747-24-0131

FAX : 0747-24-0134